

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和3年12月23日

2. 認定事業適応事業者の名称

宝酒造株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：令和4年1月

終了時期：令和6年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

近年、気候変動問題への対応を成長の機会ととらえる国際的な潮流が加速している。本計画では、こうした流れに対応し、企業としての価値を高めて行くべく、製品の製造時に排出されるCO₂を減少させていくことで付加価値の創出と環境提言を両立させていくこととしている。

この計画のうち、2022年度においては、島原工場で天然ガス製造設備を工場内に設置し、既設ボイラーを天然ガス仕様に改造するための工事を実施した。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

楠工場での2022年度における炭素生産性については、ボイラーの燃料転換によりCO₂排出量を前年比で785t削減し、炭素生産性向上割合は11.0%となった。

また、島原工場での2022年度における炭素生産性については、ボイラーの燃料転換によりCO₂排出量を前年比で4,700t削減し、炭素生産性向上割合は30.1%となった。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、経常収支比率が106.5%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

島原工場において、2022年7月に認定申請書記載のLNGサテライトタンクや既設ボイラーを天然ガス仕様に改造することで燃料転換を行うことにより、重油由来のCO₂排出量の削減を行った。

楠工場においては、前年取得した天然ガス仕様のボイラーの使用によりCO₂排出の削減を行った。